

今週（8月26日から8月30日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き動意に乏しい展開となった。ビッドサイドの資金調達ニーズは強く、週を通して0.22%台での出会いが中心となった事から、加重平均レートについても、29日(木)こそ試し取りが行われた影響により0.228%に上昇したが、それ以外の日では0.227%での推移となった。
ターム物は、1W～3M程度の期間で引き合いが散見され、0.3～0.4%近辺で出会いが見られた。

日銀当座預金残高は550兆円程度からスタートし、その後も大きな変動はなく、概ね横這い圏で落ち着いて推移した。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、0.05～0.25%での取引となった。28日(水)までは0.20%前後での推移が中心であったが、29日(木)にはやや不安定な動きとなり、一時的に0.05%までレートが低下する場面も見られた。30日(金)には、短国3M物、利付2年債の発行要因により、レートは再び上昇する展開となった。
SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン横ばい圏で推移した。
30日(金)に行われた3M物入札は強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、月末週にあたり不動産、鉄鋼、小売など幅広い業態から大型発行が見られた。
市場残高については、24兆円台後半で安定的に推移した。
発行レートについては、政策金利の引き上げ以降、総じて0.25%以上での推移となるなか、ロングターム物については引き続きレート水準が定まりづらく、投資家の運用目線にばらつきが見られた。

また27日(火)には、追加利上げ後初めてとなるCP等買入オペが事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.299%、平均レート0.344%と、前回(全取0.226%、平均0.246%)比で最低レート、平均レート共に上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 （億円）
8/26（月）	38,110.22	0.879	143.50	0.227	0.214	5,505,800
8/27（火）	38,288.62	0.875	144.71	0.227	0.221	5,503,400
8/28（水）	38,371.76	0.890	144.22	0.227	0.196	5,497,200
8/29（木）	38,362.53	0.885	144.43	0.228	0.058	5,498,600
8/30（金）	38,647.75	0.890	144.76	0.227	0.230	5,504,400

来週（9月2日から9月6日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
9/2 (月)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)				New York祝日 (Labor Day)
9/3 (火)	8月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 26,000億円 9/4発行			8月のISM製造業景況指数 7月の米建設支出
9/4 (水)	9月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				7月の米貿易収支 7月の米製造業新規受注・出荷・在庫 米ページブック
9/5 (木)	石川県金融経済懇談会において高田日銀審議委員講演 7月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)	30Y 9,000億円 9/6発行			8月のISM非製造業景況指数
9/6 (金)	8月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 7月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 7月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 46,000億円 9/9発行			8月の米雇用統計 4-6月期のユーロ圏GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/2 (月)	600	▲ 16,900	▲ 16,300	成長基盤 国債補完 社債買入	▲ 1,500 16,000 ▲ 300		14,200	▲ 2,100	財政融資資金の回収 TB3M発行▲49,000償還58,000 2Y発行▲26,000償還19,100
9/3 (火)	600	▲ 11,000	▲ 10,400				0	▲ 10,400	
9/4 (水)	700	▲ 54,000	▲ 53,300	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 61,300	年金保険料揚げ、法人税・消費税揚げ 普通交付税払い 10Y発行▲26,000 交付税借入▲12,500期日12,500
9/5 (木)	▲ 100	1,000	900				0	900	
9/6 (金)	▲ 300	▲ 9,000	▲ 9,300				0	▲ 9,300	30Y発行▲9,000
週 間 合 計	1,500	▲ 89,900	▲ 88,400	—	6,200	0	6,200	▲ 82,200	

9/2は日銀予想、9/3以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き強い資金調達ニーズを背景に、0.227%近辺の出会いが中心となることが予想される。債券レボGC T/N物のレート水準は、0.05～0.26%程度のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、9月6日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、例年、有利子負債削減のため9月末償還が多くなる傾向にあることから、9月末越え案件がどこまで増加するか注目される。

主要なイベントは、国内では2日(月)に4-6月期の法人企業統計調査季報、海外では、3日(火)に8月のISM製造業景況指数、5日(木)に8月のISM非製造業景況指数、6日(金)に8月の米雇用統計、4-6月期のユーロ圏GDP確報値の発表などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入